

**製品名: c-Jun (10G2) マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM00763**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:50-1:100
分子量	-

**抗原情報**

遺伝子名	JUN
別名	Transcription factor AP-1; Activator protein 1; AP1; Proto-oncogene c-Jun; V-jun avian sarcoma virus 17 oncogene homolog; p39
遺伝子 ID	3725.0
SwissProt ID	P05412
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

**背景**

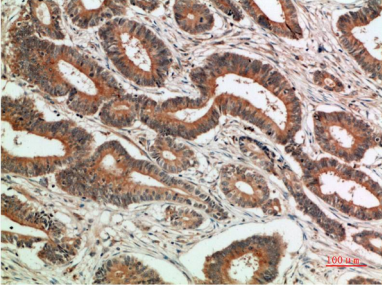
c-jun は、エンハンサーヘプタマーモチーフ 5'-TGA[CG]TCA-3'を認識し結合する転写因子です。HIPK3 によってリン酸化されると

NR5A1 の活性を促進し、cAMP シグナル伝達経路の刺激によるステロイド産生遺伝子の発現増加につながります。

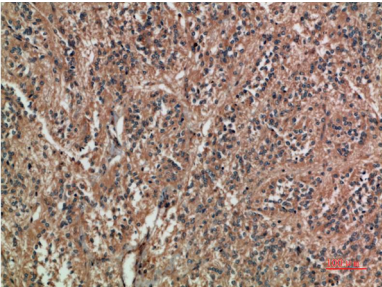
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ



c-Jun (10G2) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



c-Jun (10G2) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。